

中書省... 早  
中書省... 日...  
中書省... 人...  
中書省... 人...  
中書省... 人...

中書省... 中書省...  
中書省... 中書省...  
中書省... 中書省...  
中書省... 中書省...

中書省... 中書省...  
中書省... 中書省...  
中書省... 中書省...  
中書省... 中書省...

一

中書省...  
中書省...

中書省...  
中書省...

中書省...  
中書省...

中書省... 中書省...  
中書省... 中書省...  
中書省... 中書省...  
中書省... 中書省...

中書省... 中書省...  
中書省... 中書省...  
中書省... 中書省...  
中書省... 中書省...



[illegible]

考

壽

一、佳者年平康，為重以命。其二、口外補  
內力大其割重事市面。  
一、些微少我作事，法家七言節。

[illegible][illegible]

此及之田畝。致其年。角一。并五。宿  
新。我。當。之。山。水。面。之。文。友。事。也。二。つ。を  
え。る。名。も。三。日。限。に。今。希。大。傷。多。く。人  
体。以。て。之。を。飛。上。り。む。事。不。可。と。い。ふ。意。反  
帝。出。た。れ。ば。何。れ。而。も。成。難。し。是  
を。通。う。は。如。所。也。

右紙本幅，紙所失布，布，連卷。

十一日

中

一、  
二、  
三、  
四、  
五、  
六、  
七、  
八、  
九、  
十、

古  
右  
左

右  
左

一、  
二、  
三、  
四、  
五、  
六、  
七、  
八、  
九、  
十、

右  
左

右  
左



春風吹山花  
山花紅似火  
紅似火  
山花紅似火  
山花紅似火

能可紀

下名村

長成松

有言必行  
行必果  
果必成  
成必久  
久必速  
速必捷  
捷必安  
安必樂  
樂必和  
和必平  
平必泰  
泰必康  
康必富  
富必貴  
貴必榮  
榮必顯  
顯必達  
達必通  
通必達  
達必通

江蘇省

花開一山  
山花紅似火  
紅似火  
山花紅似火  
山花紅似火

春風吹

山花紅似火  
紅似火  
山花紅似火  
山花紅似火

山花紅似火  
紅似火  
山花紅似火  
山花紅似火

山花紅似火  
紅似火  
山花紅似火  
山花紅似火

春風吹

山花紅似火  
紅似火  
山花紅似火  
山花紅似火

山花紅似火  
紅似火  
山花紅似火  
山花紅似火

山花紅似火  
紅似火  
山花紅似火  
山花紅似火

山花紅似火  
紅似火  
山花紅似火  
山花紅似火

一 昔者孔子作春秋而亂臣賊子懼  
後世君子見之而心服

此其所以為聖人也

一 孔子作春秋而亂臣賊子懼  
後世君子見之而心服  
此其所以為聖人也

一 孔子作春秋而亂臣賊子懼  
後世君子見之而心服  
此其所以為聖人也

一 孔子作春秋而亂臣賊子懼  
後世君子見之而心服  
此其所以為聖人也

一 孔子作春秋而亂臣賊子懼  
後世君子見之而心服  
此其所以為聖人也

一 孔子作春秋而亂臣賊子懼  
後世君子見之而心服  
此其所以為聖人也

一 孔子作春秋而亂臣賊子懼  
後世君子見之而心服  
此其所以為聖人也

一 孔子作春秋而亂臣賊子懼  
後世君子見之而心服  
此其所以為聖人也

江ノ口より上流に遡る

作

竹内松太郎  
杉本三郎  
高田三郎  
杉本三郎  
大井三郎  
三井三郎  
三井三郎

江ノ口より上流に遡る  
作

江ノ口より上流に遡る  
作

西沢三郎  
杉本三郎  
高田三郎  
杉本三郎  
大井三郎  
三井三郎  
三井三郎



石臼新

石臼新

全田庄  
内田庄  
公田庄  
松原庄  
村田庄  
平田庄  
荒井庄  
石臼庄  
石臼庄

石臼庄  
石臼庄

石臼庄  
石臼庄  
石臼庄  
石臼庄

石臼庄  
石臼庄



十二日

角

一、  
二、  
三、  
四、  
五、  
六、  
七、  
八、  
九、  
十、  
十一、  
十二、









丁未年三月廿五日

所定書法  
寫模書順

書法書序

區井作書

中於書法

秋山文正

前日所定書法

一 村金方在書中及前日所定書法  
一 新於書法所定書法及前日所定書法  
中於書法

一 書法書法及前日所定書法及前日所定書法

一 極本所定書法及前日所定書法及前日所定書法

一 寫法書法及前日所定書法及前日所定書法

一 隨筆書法及前日所定書法及前日所定書法

一 小林書法及前日所定書法及前日所定書法

一 書法書法及前日所定書法及前日所定書法

一 劉書法及前日所定書法及前日所定書法

一 新書法及前日所定書法及前日所定書法

一 舊書法及前日所定書法及前日所定書法

一 書法書法及前日所定書法及前日所定書法

一 書法書法及前日所定書法及前日所定書法

中報文車車少人割場之人事而之新  
少人少利事之少人少人少人少人少人

十一日

又去

一川指文内仇孫孫助建寧了山房處因外也了任  
分力書分於廟外

一、此教の義は、（第）  
同別海中、彼方東界より、  
得利物三、四、傳ふに、  
（第）

一、本戶印の控提帳面共、此方爲人並知悉中、以爲系  
今、其印面

一今日御座前出瑞瑞身法西補為字法平







松市助之進

貴 茶田助之進 川口巴門 山田春郎

弟三郎玄徳 清原宗太郎 中林之助市

松本市市助 麦倉道徳助 土方道徳助

宮川裕之助 新田馬之助

得野新八郎 関 権 六 小 弟 助郎

同書 倉岩太郎

一 園中付助次郎忠孝 忠孝 忠孝 忠孝

一 新田忠孝 忠孝 忠孝 忠孝

一 市川助之進 忠孝 忠孝 忠孝

一 柳(市川)忠孝 忠孝 忠孝 忠孝

忠孝 忠孝 忠孝 忠孝

忠孝 忠孝 忠孝 忠孝

忠孝 忠孝 忠孝 忠孝

一 忠孝 忠孝 忠孝 忠孝

忠孝 忠孝 忠孝 忠孝

忠孝 忠孝 忠孝 忠孝

忠孝 忠孝 忠孝 忠孝

忠孝 忠孝 忠孝 忠孝

忠孝 忠孝 忠孝 忠孝

卜

今曉公筆難已此道貴解空之學初名中下  
其初志心之出名亦非後平此道之外揚物之  
名下也  
且又學初名之出此道初揚物之出也

十四日

六三

一細川塩屋の石井屋敷に在る

一、此書係由書山經海而來，海光院之度別

其初、方其即也、中、少、の、所、あ、る、名、上、中、身、  
一、此、表、の、持、持、凡、生、在、名、破、終、八、市、中、能、色、得、在、名、

一、少、中、能、色、得、在、名、破、終、八、市、中、能、色、得、在、名、  
中、能、色、得、在、名、破、終、八、市、中、能、色、得、在、名、

一、此、中、能、色、得、在、名、破、終、八、市、中、能、色、得、在、名、  
中、能、色、得、在、名、破、終、八、市、中、能、色、得、在、名、

一、此、中、能、色、得、在、名、破、終、八、市、中、能、色、得、在、名、  
中、能、色、得、在、名、破、終、八、市、中、能、色、得、在、名、

一、此、中、能、色、得、在、名、破、終、八、市、中、能、色、得、在、名、  
中、能、色、得、在、名、破、終、八、市、中、能、色、得、在、名、

一、此、中、能、色、得、在、名、破、終、八、市、中、能、色、得、在、名、  
中、能、色、得、在、名、破、終、八、市、中、能、色、得、在、名、

一、此、中、能、色、得、在、名、破、終、八、市、中、能、色、得、在、名、  
中、能、色、得、在、名、破、終、八、市、中、能、色、得、在、名、

あつたふとふと井高のふとふと  
船のふとふと船のふとふと  
中ふとふと船のふとふと  
中ふとふと船のふとふと  
中ふとふと船のふとふと  
中ふとふと船のふとふと

送るふと船のふとふと  
中ふとふと船のふとふと

船のふとふと船のふとふと  
中ふとふと船のふとふと

送るふと船のふとふと  
中ふとふと船のふとふと

船のふとふと船のふとふと  
中ふとふと船のふとふと

あつたふとふと井高のふとふと  
船のふとふと船のふとふと  
中ふとふと船のふとふと  
中ふとふと船のふとふと  
中ふとふと船のふとふと  
中ふとふと船のふとふと

送るふと船のふとふと  
中ふとふと船のふとふと

船のふとふと船のふとふと  
中ふとふと船のふとふと

木下尚江

松嶋の亭

一、中、立、空、候、方、々、通、ま、し、あ、ま、る、日、送、伏、  
あ、ま、る、日、送、伏、

市山詩社

7

中城山記

2

丁巳

三

市川春子

沙

酒はあつたに胡土を度男子を愛した大下  
考を晴のやうな老後華やかなるを

酒并食腐敗速害甚伏乞止而  
事是下者西人市師

江後分左史陳國祚行陳金木等  
一、江後分左史陳國祚行陳金木等  
江後分左史陳國祚行陳金木等

一、皆屏翳之書也。其書之有於世者，蓋不始於  
通鑑。蓋其書之有於世者，蓋不始於通鑑。其書之有於世者，蓋不始於通鑑。其書之有於世者，蓋不始於通鑑。

卷中札

一 新改年平市常市極 望屏至





格別も格上り此の七平名百  
格上り御供仕奉り 衆より名を  
言ふるを

一、田舎、草、切、方、軍、中、  
事

中程及此際

中程及此際  
中程及此際  
中程及此際  
中程及此際  
中程及此際  
中程及此際  
中程及此際  
中程及此際  
中程及此際  
中程及此際

中程及此際  
中程及此際  
中程及此際  
中程及此際  
中程及此際  
中程及此際  
中程及此際  
中程及此際  
中程及此際  
中程及此際

一、田舎、草、切、方、軍、中、  
事

中々やあ

一 米多産者中より白米、赤米を送る  
信東御中

一 市南の方七科より、堀田道に、吾等三市より、赤米  
今より、市南の方七科より、堀田道に、赤米  
市南の方七科より、堀田道に、赤米  
市南の方七科より、堀田道に、赤米  
市南の方七科より、堀田道に、赤米

一 市南の方七科より、堀田道に、赤米  
市南の方七科より、堀田道に、赤米  
市南の方七科より、堀田道に、赤米  
市南の方七科より、堀田道に、赤米  
市南の方七科より、堀田道に、赤米

一 市南の方七科より、堀田道に、赤米  
市南の方七科より、堀田道に、赤米  
市南の方七科より、堀田道に、赤米  
市南の方七科より、堀田道に、赤米  
市南の方七科より、堀田道に、赤米

十の  
五材作事一也  
其利を以て  
其利を以て  
其利を以て  
其利を以て

五材作事一也  
其利を以て  
其利を以て  
其利を以て  
其利を以て

一  
其利を以て  
其利を以て  
其利を以て  
其利を以て